

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

永井克昌会長 年度目標

「豊かな人間関係を創り

次の世代に続くロータリーにしよう！」

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 大附香一



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 永井 克昌
幹事 矢野 雄嗣

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rcnagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第945回例会 No. 37 平成27年4月9日(木) 晴

- ローターソング 「我等の生業」
- 出席報告 会員53名中29名出席
- 出席率 59.18% 出席計算人数49名
- 修正出席率 3月26日 95.92%
- スピーカー 恵利有司さん

会長挨拶

ニコBOX

●本日は「新会員卓話」です。恵利有司さん、よろしくお願
い致します。永井会長、矢野幹事、小原、松尾、安江、
若原、古川、後藤、和田、立石、西川、河原、水野、有沢、
伊藤、渡邊、長谷川、山崎、亀井(敬称略)

藤田さん Dr.テックのお見舞い、宜しくお願い致します。

恵利さん 今日は私の卓話です。どうぞよろしくお願いし
ます。

★春の健康感謝ニコニコ Day 伊藤さん

本日合計 45,000円

出席表彰

出席委員長 松尾雄二郎
チャーターメンバー藤田守彦さんに20ヶ年出席表彰とし
て記念品を贈呈致しました。



新会員卓話

「事業紹介と趣味について」

恵利 有司



印刷会社である事業の内容と、ご趣味の釣りについてお
話を頂きました。

ゲイリー・C. K. ホアン RI会長メッセージ (ROTARY JAPAN WEB より転載)

「ロータリーの雑誌を分かち合おう」

(4月は雑誌月間です)

親愛なるロータリアンの皆さん、今日、コミュニケーションをとる方法は、かつてないほどたくさんあります。テレビ会議やインスタントメッセージの時代において、私たちは、おおむねどこにいても共に活動することができ、また、ロータリーの活動をフェイスブック、ツイッター、国際ロータリーのウェブサイトで知らせ合っ、常に連絡を取り合うことができます。しかし、皆さんがまさに今、手に持っている、あるいは電子端末で読んでいる雑誌は、これからもとても大切な役割を担い続けていくことでしょう。

多数のノーベル賞、ピューリッツァー賞受賞者が執筆

『The Rotarian』は、世界で最も古くから出版されている雑誌の一つで、1911年、ポール・ハリスの寄稿文を特集して創刊し、以来、休刊することなく出版されています。当時、その雑誌はモノクロ印刷で、ほんの数ページのものでした。活字は小さく、写真もほとんどなく、広告はピアノ業者や紳士用品店、そして給水・給湯が完備されたホテル1軒でした。

現在、『The Rotarian』はスマートフォンやタブレットで

読むことができ、地域雑誌は 24 の言語で発行されています。この雑誌にはデズモンド・ツツ、ジョージ・バーナー・ショー、ニコラス・マレー・バトラーをはじめとする 17 人のノーベル賞受賞者、19 人のピューリッツァー賞受賞者が執筆しています。毎月、『The Rotarian』は、ロータリー世界の最良の寸描を私たちに届けてくれます。それは絆であり、楽しみであり、啓蒙(けいもう)であり、刺激であります。

今の時代の雑誌の役割

恒常的に通信が行われ、新たな情報を得る手段がいくらかでもある時代に、今なおロータリーの雑誌は必要なのではないでしょうか？ 絶対に必要です。それは雑誌がこれまででもそうだったように、今なおロータリーについての言葉を広めるのに最も良い方法の一つだからです。雑誌は私が数々のロータリーデーの楽しさや興奮を皆さんと分かち合うことを可能にし、世界中のロータリアンの素晴らしい活動を掲載し、私たち全員に関係のある重要な問題に焦点を当てます。『The Rotarian』はロータリアンだけが楽しめるものではなく、ロータリーの公共イメージを広め、ロータリアンが行う活動を世界に示す素晴らしい方法なのです。

ですから、この号を皆さんが読み終えたら、誰かに差し上げてください。今月号の記事に、特に興味を持ちそうな人は誰かを考えてみてください。友達、仕事仲間、同僚に渡しませう。ロータリークラブの例会に誘ったことがある人と分かち合ってください。

www.therotarianmagazine.com を訪れて、ソーシャルメディアで話を分かち合ったり、Eメールでリンクを送りましょう。ロータリアンが 100 年以上続けてきたように、ロータリーに輝きを与えるために利用しましょう。

ハイライトよねやま 180 号 181 号 (米山記念奨学会ニュース WEB より抜粋)

●寄付金速報＝2014-15 年度も残り3ヶ月＝

3 月までの寄付金累計は前年同期と比べ 4.3%増、約 4,900 万円の増加です。普通寄付金が 2.5%増、特別寄付金が 5.4%増となりました。今月も個人・法人からの高額寄付金、また、創立記念寄付を多くいただいたことにより、寄付累計額は先月と同様、直近 6 年間でトップのまま推移しています。今年度残り 3 月分は、特別寄付金が増え寄付金収入となります。引き続き、当会事業へのご支援をよろしく申し上げます。

●ホームカミングの学友が各地区行事で活躍

「ホームカミング制度」は、活躍する米山学友を各地区が招き、その活躍ぶりをロータリアンに広く紹介していただく制度です。地区でお世話いただいた学友だけでなく、他地区出身の学友、日本国内在住の学友も対象になります。2 月中旬から各地区で開催された地区大会などに、この制度を通じて続々と学友が招かれ、交流を広げて、ロータリーとの絆を深めました。

第 2580 地区(東京・沖縄)の招へいで来日したのは、タイ米山学友会初代幹事のブサコーン・ホンヨックさん。2 月 17 日の地区大会、翌 18 日の奨学生期間終了式に出席したブサコーンさんは、多くのロータリアンや奨学生

と笑顔で交流しました。自らが実践する「四つのテスト」の教えや職業奉仕など、ロータリーへの深い理解と感謝を述べたそのスピーチは、大きな感動を呼びました。

第 2760 地区(愛知)の地区大会には、同じくタイ米山学友会で活躍するアヌチャー・ポリブーンさんが出席。2 月 22 日に登壇して活動報告を行いました。アヌチャーさんは同地区出身ということもあり、世話クラブの豊橋北 RC の例会に参加し、カウンセラーをはじめ同クラブ会員との旧交を温めるなど、“里帰り”を満喫しました。

また、第 2730 地区(鹿児島・宮崎)で 3 月 7～8 日に開催された会長エレクト研修セミナーには、よねやま親善大使の楊小平さんが招かれ、スピーチを行いました。3 月・4 月も、第 2500 地区(北海道東部)のIMIにジャン・チブ・ガルバドラッハさん(モンゴル)と崔一信さん(韓国)、第 2700 地区(福岡・佐賀・長崎)の地区大会に謝億榮さん(台湾)など、「ホームカミング」で来日する米山学友がスピーチを行います。参加される皆さまは、ぜひ彼らのスピーチに耳を傾け、温かい拍手をお願いします。

●新奨学生オリエンテーションがスタート

2015 学年度の奨学生は 730 人となりました。国・地域別では中国が 39.7%、次いで韓国が 14.4%、ベトナム 11.1%、台湾 4.8%の順となっています。中国・韓国籍の割合が 3 年連続で減少しており、両国の来日留学生数そのものが減少しているだけでなく、地区選考委員会が国・地域の偏りに配慮して選考していることが伺えます。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金 689 人(学部課程:257 人、修士課程:253 人、博士課程:179 人)、地区奨励奨学金 14 人、クラブ支援奨学金 8 人、海外学友会推薦奨学金 5 人、海外自由応募奨学金 14 人となっています。

4 月～5 月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。米山奨学生としての義務やこの事業の意義を理解してもらい、確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。また、オリエンテーションでは学友会メンバーも受付や学友会の説明に活躍しています。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

●よねやまフォトコンテストにご応募下さい

ロータリー米山記念奨学会では、「第 1 回よねやまフォトコンテスト」を実施し、米山奨学生・学友・ロータリアンの皆さまからの写真を広く募集します。入賞作品は、当会HPや公式 facebook ページで紹介するほか、米山奨学会が作成する事業ポスター、全会員に配布するパンフレットなどにも掲載します。米山記念奨学事業の魅力が伝わるみなさまのベストショットをお待ちしています！詳細は、当会ホームページの「重要なお知らせ」をご覧ください。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
締切は 5 月 15 日(金)です。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎4月23日(木)第947回例会 例会変更

「社会奉仕友愛夜間例会＝古本回収＝」18:30～

◎4月30日(木) 休会

◎5月7日(木)第948回例会「クラブフォーラム」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆